

# 旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場（岩見沢レールセンター）/岩見沢市



## ～北海道近代化を担った鉄道の要所～

開拓使によって建設された幌内鉄道は、1882（明治15）年に手宮～幌内間が全通し1889（明治22）年に道庁理事官であった旧薩摩藩士・堀基が設立した北海道炭鉱鉄道会社に払い下げられました。

1889（明治32）年に、その鉄道財産の中にあつた手宮駅（小樽市）に隣接した手宮工場の分工場として岩見沢製作所が設置されました。

1903（明治36）年には岩見沢が本工場となり、1904（明治37）年には北炭本社の岩見沢移転でさらに拡張されました。しかし、鉄道国有化後は、1906（明治39）年に旭川工場の分工場となり、1915（大正4）年に苗穂工場岩見沢派出所となった後に廃止されました。

1945（昭和20）年に、レールセンターの前身である岩見沢材修場が開設され、現在も北海道旅客鉄道（株）が使用しております。建物壁面には北炭の社章（コバルト色の円の中に赤い星）が残っております。

住所 〒068-0035 岩見沢市有明町中央

公開状況 外観のみ観覧可能

アクセス（自動車） 札幌から約36km 約30分  
【道央自動車道 岩見沢IC降 約10分】

アクセス（公共交通機関） 札幌から約25分  
JR函館本線 岩見沢駅降車～徒歩 約5分

問い合わせ 北海道旅客鉄道鉄道事業本部  
電話：011-700-5800